



## 江戸時代から続く 雛人形づくり

かつて佐野は例幣使街道の宿場町として栄え、日光東照宮造営で全国から集まった職人が多く住み着きました。職人たちが始めた雛人形作りの技術は今も受け継がれ、作られた人形は「衣裳着雛」として愛されています。  
(市内の人形工房にて)